

# 平成30年度 第1回 学校運営協議会 記録

○日時 平成30年7月6日(金) 午後15時30分～17時00分

○場所 本校 高等部棟2階 図書室

○参加者 学校運営協議会委員 守口市教育センター センター長 吉川 弘美 様  
立命館大学 産業社会学科 教授 青山 芳文 様  
門真市公共職業安定所 専門援助部門  
統括職業指導官 野志 秀憲 様  
錦地域コミュニティ協議会 会長 渡辺 人司 様  
守口支援学校 学校医 森口 久子 様  
本校PTA会長 中重 早苗 様

事務局 可知校長 佐野教頭 與賀田事務長  
西面小学部主事 山本中学部主事 石田高等部主事  
室田首席 寺村養護教諭 各分掌部長

○内容

## 1 学校長挨拶

・今年度は法改正により学校運営協議会に改めることになった。開かれた学校づくりの中で、単に応援団ではなく、学校運営方針にご意見をいただくこととなった。これまでも地域連携を大事にしてきた。学校協議会からお世話になっている。皆さまには引き続きご協力をお願いしたい。

## 2 学校運営協議会規約について…別添 規約で確認

学校運営協議会委員について…同上

学校運営協議会会長選出…昨年度に引き続き吉川様をお願いしたい。→拍手で承認

今年度より副委員長をおくことになり、青山様をお願いしたい。

→拍手で承認

## 3 学校運営協議会会長挨拶

守口支援学校においても、この協議会を通じて、教育活動に係る学校運営や学校の課題に対して、我々(保護者・地域住民等)が参画し、よりよい方向にいくように努めさせていただく。

## 4 今年度の学校経営計画について

各分掌より報告(経営の重点に係る業務について年間活動計画の資料をもとに)

## 5 今年度の使用教科書について 展示並びに紹介

## 6 研究推進部の活動 進捗状況報告

## 7 質疑応答・協議等

- ・ 自立活動専任教員の有無、公開授業の実施状況。  
公開授業を全員がするのは最高である。研修したことを伝えることも大事だが、実際の授業を見る、見てもらうことは大事。
- ・ 就労移行支援は具体的にどのようにされているのか。教員の夏季休業中の体験実習の実施期間と規模について
- ・ 福祉事業所での教員体験研修で生徒の将来像を見ていただき活かして欲しい
- ・ 児童生徒の通学等の状況と地域の協力について。
- ・ 毎年行われているS-M社会生活能力検査結果の活用方法。
- ・ 働き方改革について
- ・ 校外研修の成果について、どの程度その情報を教員全体で活用しているのか？
- ・ 地震等災害時の自主通学の生徒の様子について。

まとめ 毎年前年度の反省をふまえて新しい取り組みを進めていくというPDCAサイクルで学校を上手に運営されておられる。

働き方改革は大きなキーワードである。「業務の見える化。」同じ職場のお互いが何をしているのかという見える化重要。庁内でも横の連携が課題で5人いれば5人の人の仕事となりがち。お互いの仕事が見えると一人一人の業務の無駄が減る。「自分の見える化。」仕事の見える化。限られた時間の中でいかに業務のクオリティをアップさせるか各自が工夫することも重要。

## 8 事務連絡 第2回 学校運営協議会日程について

11月19日～11月22日のいずれかの日に実施。